

関西ティーイーケイ(株)環境報告書 2006

ごあいさつ

ご案内のように、当社は東レエンジニアリング株式会社の関西における関係会社で、東レ株式会社及び東レエンジニアリング株式会社で培ってきた技術・技能をさらに高めた機械・電気・計装関係の技術・技能集団です。それをもって幅広い顧客ニーズに応え続けています。東レグループの一員である当社の従業員の大半は、東レ滋賀事業場内に勤務しているところから、環境保全・改善活動についても東レ滋賀事業場の進める活動に同一歩調で取り組んでいます。

ここに示した種々のデータは、東レ滋賀に報告しているそのものです。我々関西ティーイーケイ株式会社は東レグループの一員として大津市と結んだ環境保全協定の実施に向け、今後ともたゆまない努力を続ける事をお約束致します。

関西ティーイーケイ株式会社
社長

環境方針

【環境理念】

安全・防災・環境保全・衛生・健康・倫理を事業活動の最優先課題として、社会と社員の安全と健康および資源を守り地球環境保全に努めます。

【環境保全方針】

1. 大津市環境基本計画に基づき、共生、循環、健康、快適、協働の基本目標を達成すべく、環境保全活動方針・計画を明確にし、環境の維持・保全に努めます。
2. 環境関連の法規制を遵守し、自主的に保全・改善活動に取り組めます。
3. 水質汚濁物質の流出防止および大気汚染物質の排出防止を徹底します。
4. 廃棄物の削減、リサイクル化の促進、省エネルギーへの取り組み等環境負荷の低減に努力します。
5. 臭気・振動・騒音等を防止し、地域環境を守ります。
6. 上記項目の実現のため、環境目的および目標を設定し、かつ、全従業員が事業者・市民としての責任と役割を自覚し、共通の目標を達成するために継続的な活動を推進いたします。

2001年2月26日制定

会社概要

社名：関西ティーイーケイ株式会社
 設立：昭和48年9月
 資本金：80百万円
 本社：〒520-0832
 滋賀県大津市栗津町1番24号
 TEL 077-534-0956
 FAX 077-534-4693
 株主：東レエンジニアリング株式会社
 東洋電機株式会社
 代表者：代表取締役社長 林 隆生
 許可業種：
 特定建設業 特-12第18627号
 機械器具設置工事業・管工事業
 電気工事業

事業内容

設備維持・保全 : 機械、電気・計測設備の維持、保全
 各種設備の更新、修繕工事
 機器設計、製作 : 繊維機械、産業機械、乾燥機、コーター
 設備、セラミックス加工、複合材加工
 コンポジット
 制御盤設計、製作 : 制御盤の設計、製作、調整、保守
 制御システム設計、調整、電子機器組立
 総合エンジニアリング
 : 機械、電気、計測、土木、建築
 プラントの設計、施工、監理
 特定派遣業
 新規展開事業分野
 物流合理化機器 環境保全設備 制御システム装置
 高分子関連設備(繊維・フィルム・プラスチック)
 化学・食品トイレットリー・他プラント

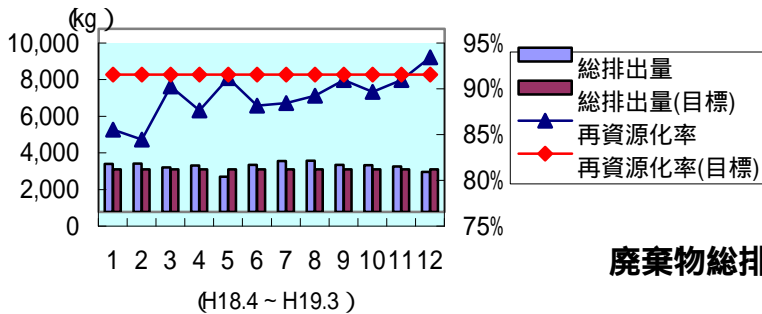
H18年度 環境保全活動

H18年度 関西TEK環境マネジメントプログラム

番号	環境目的	環境目標	達成基準 (達成度)	方針・施策 (手段・方法)	目標達成のための必要条件 (要員・設備・資金等)	スケジュール												達成予定 年 月	実行責任者	
						上期						下期								
						4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
1	廃棄物の排出により生じる環境影響の最小化	1)総廃棄物処分量の削減(再資源化含む)	28t/年以下を目標 (前年廃棄量:27.8t) ※昨年目標達成するも、売上高減少が寄与してと思われる節が有るので同じ目標に再チャレンジ	・削減計画の周知徹底と700- ・茶かす、吸殻の水きり廃棄の徹底 ・無駄買い、無駄使いの禁止	・廃棄量毎月700-(紙の使用量監視) ・意識高揚 ・購入品の梱包資材返却													2007-3	安管部長/各部部长	
		2)再資源化の推進	紙のリサイクル率:95%(98%) 紙以外の再資源化率:90%(89%) ※昨年目標と同じ	・再資源化及び売却の推進 ・ゴミ分別の徹底 ・明かり安心サービスの導入	・再資源化ルートの開拓 ・分別パトロールの強化継続															
		3)紙の削減	11t/年以下を目標 (前年廃棄量:18.301t) ※昨年目標と同じ	・紙の両面利用の徹底 ・無駄使い、ミス印刷の禁止 ・環境保全意識の高揚	・定期パトロールの実施 ・購入品の梱包資材返却															
2	省エネルギーの推進による地球温暖化防止	エネルギー費用削減の推進	A. 用役費: 9,700千円/年以下(9,817)	・冷暖房の温度管理強化 ・不用時オフの徹底 ・「盗電70%削減」宣言の実施 ・公共交通機関の利用促進 ・経済速度での運行	・定期パトロール ・使用量毎月700-													2007-3	安管部長/各部部长	
			B. ガソリン使用量: 23,000L/年以下(20,099) ※昨年目標達成するも、売上高減少が寄与してと思われる節が有るので同じ目標に再チャレンジ																	
3	法遵守の継続および環境異常発生時の未然防止	環境異常件数ゼロ(異常排水流出防止)	重大トラブル0件 軽度トラブル0件	・教育訓練による意識アップ ・一般排水路のチェック ・工事保安対策会議の充実	・定期パトロールの実施 ・水経路バスツアーの積極的参加 ・ヒヤリハットの水平展開													2007-3	社長/各部部长	

H18年度環境保全活動結果 1. 廃棄物の削減

(1) 総排出量と再資源化の推進



目標達成のために、

- H18年度削減計画のPR
- 購入品の梱包資材返却
- 再資源化ルートの開拓
- 分別パトロールの強化

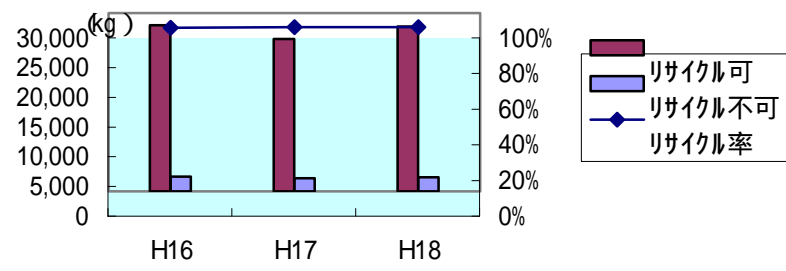
廃棄物総排出量目標達成出来ず 目標28.0t/年
実績30.1t/年

紙以外の再資源化率目標達成出来ず 目標90.0%
実績87.7%

- 内訳 -

	リサイクル可	リサイクル不可	リサイクル率	総計
H16	27,943	2,490	92%	30,433
H17	25,652	2,197	92%	27,849
H18	27,721	2,391	92%	30,112
削減量	-2,069	-194		-2,263

売上高は前年比 1.47倍となったが総排出量は前年比 1.088倍に留まった。しかし、削減目標28tは残念ながらクリア出来なかった。

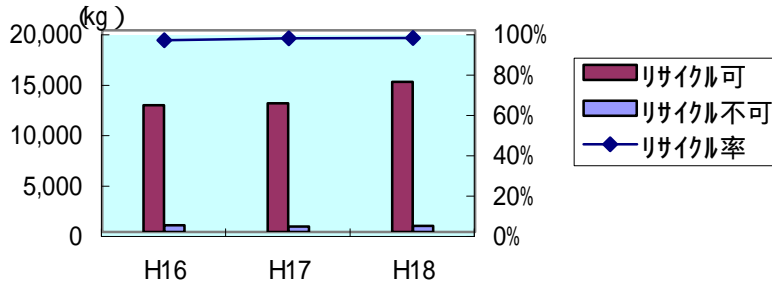


リサイクル率は実績92%と昨年と変化無し。

紙

	リサイクル可	リサイクル不可	リサイクル率	総計
H16	12,581	657	95%	13,238
H17	12,768	533	96%	13,301
H18	14,896	588	96%	15,484
削減量	-2,128	-55		-2,183

紙リサイクル率目標95%達成のために、
 a. 再資源化ルートの開拓
 b. 分別パトロールの強化

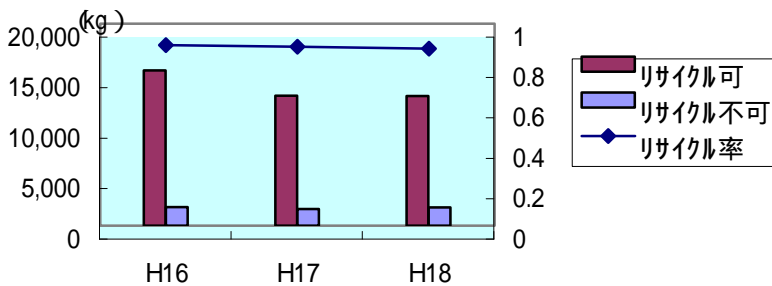


H18年 紙リサイクル率
実績96%と目標達成

紙使用量は売上高が前年比1.47倍と増加したにもかかわらず1.164倍に留まったが、総排出量の増加の殆どが紙の使用量の増加でリサイクル率の目標は達成出来たが使用量目標を大幅に超えた。目標設定、削減策の見直しが必要。
 紙以外の廃棄物は前年比1.006倍でリサイクル率の目標達成は出来なかったが使用量は目標17トンを大幅に下回った。

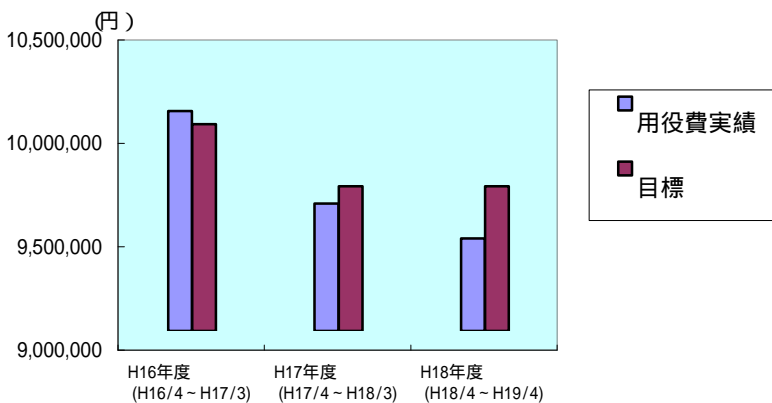
紙以外の廃棄物

	リサイクル可	リサイクル不可	リサイクル率	総計
H16	15,362	1,833	89%	17,195
H17	12,884	1,664	89%	14,548
H18	12,825	1,803	88%	14,629
削減量	59	-139		-81



2. 省エネルギーの推進

(1) 用役費用



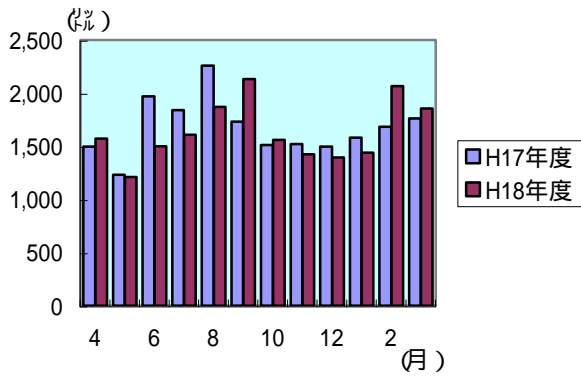
目標達成のために、

- a. 冷暖房の温度管理強化
- b. 不要時のS/W OFF化の再徹底と実施
- c. 「滋賀アイドリングストップ宣言」の実施
- d. 公共交通機関の利用促進
- e. 経済速度での運行

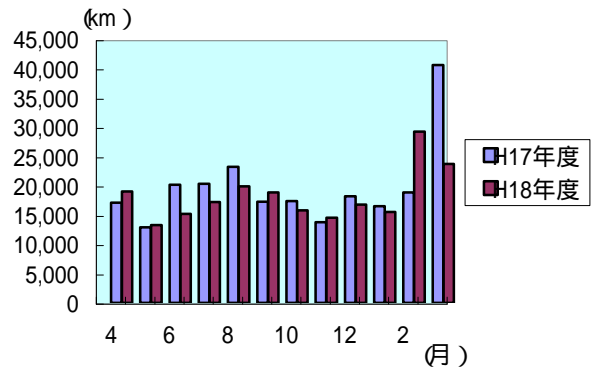
用役費目標970万円以下の目標達成

理由 1. 上記「目標達成のために」の実践

(2) ガソリン使用量



(3) 走行距離



ガソリン使用量： 目標使用量23,000L/年以下に対し使用実績19,634Lと目標を達成した。2005年度は売り上げ減少が目標達成に寄与したのでは？との事で2006年目標を2005年度と同一としたが「目標達成のために」の実践の成果が上記の様な結果を得たので来期の目標設定は2006年の実績を目標とする予定。

3 . 環境苦情件数の削減

(1) 環境に関する苦情件数のゼロ化

重大トラブル 0 件

軽度トラブル 0 件

と目標は達成できた。引き続き苦情件数" 0 "を目標に努力する。

目標達成のために、

- a. 教育訓練による意識アップ
- b. 水経路バスツアーの積極参加

以 上